



五小だより

7月号

令和8年7月1日

五小ブログ 国分寺市立第五小学校

042-322-0045

校長 齋藤 晃

学校行事、各学年の学習活動の様子は、五小ブログをご覧ください。



「自分事」の学び

校長 齋藤 晃

6月21日（日）から本校6年生が2泊3日で日光移動教室に行ってきました。今年度は熊との遭遇が心配されたため、残念ながら戦場ヶ原のハイキングは事前に見合わせました。3日間、梅雨時にもかかわらず天候に恵まれ、行動中は雨に降られることもなく、無事に帰校することができました。（移動教室の様子は五小ブログをご覧ください。）移動教室の間、教師たちは意図的に声掛けによる指示を減らしていました。参加した子どもたちは全員元気に3日間を過ごす中で、日々の予定を自分事として捉え、見通しをもって考えながら声を掛け合うなど、主体的に協力して行動できるようになりました。移動教室の実施に当たり、保護者の皆様をはじめご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

さて、先日2年生のある学級で、先生と子どもたちが算数の時間に主体的な学び方の一つ、自由進度学習の考えを取り入れて勉強に取り組んでいました。

自由進度学習：子ども自身が学習の進め方や順序を考えながら自分のペースで学び進める学習方法。学習内容は共通でも、取り組む順番や進め方は個々の理解度や興味に応じて異なる。自分で課題に取り組む場面が多く、必要に応じて教師が個別にサポートする。

まず授業の冒頭で、今日のめあてと課題（取り組む問題）を確かめます。次に子どもたちは「友達と」「一人で」の2つの学び方から自分に合ったものを選び、座席を移って課題に取り組み始めました。課題には解答の理由を説明することも含まれています。友達と取り組んでいる子どもたちは相談しながら学習を進めています。

ふと見ると、あるグループでは間違っただけの解答になんとか説明を付けて全員が安心していました。その様子を教師が見つけて助言をすると、正しく理解した子どもがグループの仲間にその考え方を伝えていました。その後、そのグループは全員が正しく理解し、解答を修正することができました。一方、教師にとっても指導する対象が実質的に減少するので、一人で取り組んでいて困っている子どもにも丁寧な助言することができていました。

予定されていた時間内に全員が課題を終えると、普段の席に戻って3人組の学習班で、あらためて解答の確認をし合いました。学級全体で答え合わせをする場面では、先ほど間違えていたグループの子どもも、正しい説明を自分の考えとして、自信をもって発表できていました。

今、これからの時代を生きる子どもたちに「主体的に学ぶ力」を育むことが大変重要とされています。今回、6年生日光移動教室でも、また2年生の算数の学習でも、子どもたち一人ひとりが直面する課題に自分事として取り組み、自分の言葉で考えを伝え合っていました。これにより学習内容の定着とともに、多くの子どもに「主体的に学ぶ力」がしっかりと育つ姿を目にしました。

本校では、これからも子どもたちが自分事として学びに取り組めるよう、授業の工夫や改善を続けていきます。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

お知らせ

- ・「学校評価アンケートのお願い」を6月24日にスクールメールで配信しています。7月8日を締め切りとさせていただいていますが、多くの方のご意見を反映させていきたいと思っております。未回答の方へリマインドメールを送信しますので、ご理解、ご協力をお願いします。
- ・「個人面談の日時」が決定しましたので、本日、各学級から紙面のみで配布します。ご確認ください。